コロナワクチンで苦しむ人たちの声を聞いて！

医者、ジャーナリスト、政治家…有志達による衝撃のシンポジウムの映像化。

子どもに打たせる前に、3回目を打つ前に、この記録を「目撃」してください。

‖記録映像‖

ワクチン後遺症

日時　4月29日（祝）　13時30分～16時30分（13時開場）

※ワクチン後遺症上映後、
こどものワクチン接種を考えるミニ上映会（40分）があります。

場所　笛吹市スコレーセンター　集会室
山梨県笛吹市石和町広瀬626番地1

参加費　大人　1500円（レンタル料、会場費、チラシ印刷費、案内郵送料、雑費等に還元させていただきます。）
高校生以下　無料（定員200名）

お申し込み　右記のQRコードよりお申し込みください。

主催こどもコロナプラットフォーム山梨県賛同者の会
「ワクチン後遺症」上映山梨実行委員会
090-8004-3031 村松
お問い合わせ humanright.action@gmail.com

山梨県の皆様へ

2020年、新型コロナ禍が始まった春、私は来る日も来る日もマスクを縫っていました。
マスクが手に入らない、子ども達に寄付するために。
一日も早く収束してほしい、誰もがそう願ったことでしょう。
しかし、国民の八割が二回接種を終えてもなお、コロナ禍は収束せず、むしろ死亡者は増え続け、超過死亡は戦後最多となりました。
「一日100万回」の号令の元に勧められているワクチン接種の裏側で、報道されることのない惨状が起こっていることをご存知でしょうか。
私達は、この急遽に作られた人類に初めて用いられるワクチンと引き換えに、何を手に入れ、何を失ったのでしょう。
「一人も死なせへん」全国からの後遺症に苦しむ人達の治療にあたり、涙を流しながら発信し続ける長尾Dr、日本で唯一事実に基づく公平な情報を発信し続け、後遺症救済にも尽力されている南出市長、多くのことを犠牲にしながら、命を守るために叫び続けている方々の懸命な想いを、
そして後遺症で苦しむ方々の痛烈な叫びを、どうかその現実を、みなさんに知っていただきたいと思い、上映会を企画しました。
そして、もしかしたら人知れず後遺症に苦しむ方々の手助けとなり、
これからまだまだ勧められるであろうワクチン接種の判断の一助としていただけたなら、
また、もしも行政や医療に携わる方々の心に届き、進まぬ後遺症被害者の救済への道が、少しでも開けるきっかけとなりましたら幸いです。
全ての生命が大切にされる社会であることを、心より願っております。

「ワクチン後遺症」上映山梨実行委員会　代表　村松裕美

ゆうネット　意見広告に寄せられた中学生の手紙より　抜粋

僕の弟は、ワクチンを打った2日後の朝、急に胸が痛いと言い始めたので〇〇病院に行きました。色々検査しましたが、原因がわからないと言われ何ヶ月も入院しました。お医者さんからはワクチンは関係ないだろうと言われましたがワクチンを打った2日後からいきなり痛くなったのだからお医者さんはいいかげんだなと思いました。

弟は退院しましたが今でも胸が時々痛いようでずっと学校を休んでいます。僕は父からワクチンが危ないかもと聞いていたので打っていません。僕も弟に打たない方がいいと言っていたのですが、母がワクチンを打たないとコロナに感染するし、友達も打っているから大丈夫と言って、弟は母を信じてワクチンを打ちました。でも弟がこんな大変なことになっているのに、母はワクチンは関係ないと言って、父はそれが許せず、去年離婚しました。

この新聞を母に見せたら、母は最初この内容は間違っていると言っていましたが、どこが間違えているのかを聞いたら、黙ってしまい最後はずっと泣いていました。

どうしてもっと早く出してくれなかったのですか。意見は遅すぎたと思います。もっと早く出ていたら弟は元気だったし、父と母も前のように仲良しだったと思います。今、出されても全然何の役にも立ちません。
母が悲しむ姿を僕も見たくありません。

接種後亡くなった13歳のお子さんのお母様の言葉より抜粋

私の大切な大切な子どもは、
ワクチン接種数時間後、あまりにも突然変わり果てた姿となり、旅立ってしまいました。

あれから何もかも信頼できず、他人の声も入って来ず、悲しく苦しく情けなく、もがき続けながら日々を生きています。

子どもの生きた証を、少しでも意味のあるものにしたい。
ようやくそんな気持ちを持ち初めましたが、どうすればよいのか、何が正しいのかわかりません。

どうか正しい情報を広く発信し、せめて未来ある若者の命・健康な身体を守ってください。

ただ、遺族の心情を共有していただきたいのではありません。

【命】【健康な心身の保持】を最優先に考えた、正しい情報発信と行動を願っております。

「助かるはずの命を助かるはずだった命にしない」ジャパンハート活動の、このフレーズはグサッと心に刺さりました。

今は、子どもの命にかえて、被害を受けなくて良いはずの多くの若者の命と健康な心身を救っていただきたい。ただそれだけです。

何がなんでも、子どもたちへの接種は中止してください。

これ以上、未来のある子ども達に被害を与えないでください。